

施策番号	0103		
施策名	ごみを出さない循環型社会の構築		
概要	循環型社会の構築のために、ごみを出さない2Rの定着、ごみの分別や適正な排出、資源物の回収及び廃棄物発電など、ごみの減量と再利用を促進する。		
担当局・部室	環境政策局・循環型社会推進部、適正処理施設部	共管局・部室	
上位政策	1 環境		
施策に関する主な分野別計画等	京都市循環型社会推進基本計画		

施策の評価

1 客観指標評価

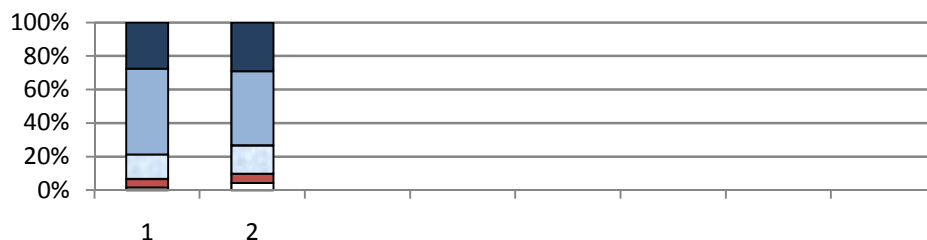
指標名	年度	年度	23年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1 一人一日当たりのごみの排出量(グラム)	-	-	1,000	924※	983	106.0%	a	1.00
2 再生利用率(%)	-	-	18.2	20.3	19.3	105.2%	a	1.00
3 ごみ1トン当たりの発電量(kWh/t)	-	-	342	329	340	96.8%	a	1.00
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価							a	

※8月末時点の速報数値から確定値に変更、それに伴い達成度を変更

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	23年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 マイバッグやリサイクル製品など、ごみを出さないようなくらしと事業活動が広がっている。	159	297	85	29	10	580	a	
	27.4%	51.2%	14.7%	5.0%	1.7%			
2 ごみを分別して出せる拠点が身近にあり、ごみのリサイクルが進んでいる。	168	256	98	32	25	579	a	
	29.0%	44.2%	16.9%	5.5%	4.3%			
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
市民生活実感調査総合評価							a	



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている					年度	-
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	a		
(重み付けの理由) ごみの発生抑制や再利用、資源物の回収及びエネルギー回収等、すぐには市民の実感につながりにくい部分が多いため、客観指標に重みを置く。						年度	-
(原因分析) ・資源物回収拠点の拡大、業者収集ごみの透明袋使用義務化及び告示産業廃棄物の市施設への受入廃止等により、本市のごみの受入量は大きく減少するとともに、再生利用率は向上した。 ・クリーンセンターでのごみの受入減量に伴い、発電効率は低下したが、ごみ1トン当たりの発電量はほぼ維持した。						年度	-

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	使用済てんぷら油回収事業	45,394	51,638	良い	環境政策局
2	使用済乾電池処理適正化事業	11,128	22,122	良い	環境政策局
3	コミュニティ回収	48,483	52,338	良い	環境政策局
4	リユースびん(リターナブルびん)等の拠点回収	23,680	33,656	良い	環境政策局
5	蛍光管拠点回収事業	13,478	14,147	かなり良い	環境政策局
6	生ごみ堆肥化等の活動支援	16,656	22,847	良い	環境政策局
7	資源物回収拠点の設置	11,120	20,256	かなり良い	環境政策局
8	廃棄物対策研究調査	5,571	5,758	かなり良い	環境政策局
9	南部資源リサイクルセンター運営	143,655	145,433	良い	環境政策局
10	魚アブリサイクルセンター運営	257,854	267,505	普通	環境政策局
11	総合環境情報誌の作成	47,716	20,723	かなり良い	環境政策局
12	京都市ごみ減量推進会議運営	63,954	76,086	かなり良い	環境政策局
13	不用品リサイクル情報案内システム運用	8,265	7,895	悪い	環境政策局
14	3R推進店「めぐるくんの店」推奨	4,791	-	良い	環境政策局
15	京(みやこ)の環境みらい創生事業	31,181	38,742	普通	環境政策局
16	各区環境パートナーシップ事業	15,321	12,985	良い	環境政策局
17	みんなのエコナビゲーター	7,950	-	かなり良い	環境政策局
18	小型家電リサイクルモデル事業	10,655	11,661	かなり良い	環境政策局
19	包装材削減推進京都モデルの構築	19,553	24,910	普通	環境政策局
20	イベント等のエコ化の推進	12,052	15,494	普通	環境政策局
21	「KYOTOエコマネー」の創設	0	17,730	-	環境政策局
22	生ごみ3R推進事業	0	16,137	-	環境政策局
23	資源物の持去り禁止	0	16,572	-	環境政策局
24	大型ごみのリユースモデル実施	0	11,337	-	環境政策局
25	資源ごみ等の“新回収システム”モデル事業	0	27,672	-	環境政策局
26	事業ごみ減量、リサイクル促進普及啓発	60,116	72,696	かなり良い	環境政策局
27	事業系一般廃棄物減量指導業務	155,009	149,271	良い	環境政策局
28	産業廃棄物に関する社会意識の高揚(京都市産業廃棄物処理指導計画推進)	18,010	28,518	良い	環境政策局
29	京都環境保全公社への府市協調支援	1,891,823	1,790,901	かなり良い	環境政策局
30	大岩街道周辺地域対策	36,271	24,529	かなり悪い	環境政策局

31	廃棄物排出事業者指導業務	79,305	83,727	良い	環境政策局
32	南部クリーンセンター第二工場建て替え整備事業	36,571	36,741	-	環境政策局
33	焼却灰溶融施設整備	121,056	1,409,025	-	環境政策局
34	埋立処分地整備事業	266,364	230,959	-	環境政策局
35	バイオマス活用の推進	66,106	40,043	-	環境政策局
36	廃棄物減量等推進審議会運営	8,937	7,896	-	環境政策局
37	「京都市循環型社会推進基本計画(2009-2020)」の推進	10,876	9,131	-	環境政策局
38	ごみ質調査	31,950	24,671	-	環境政策局
39	建設副産物対策	10,457	10,756	-	建設局

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・ごみの減量，分別及び適正な排出について意識啓発に努めるとともに，資源物の回収等，再資源化の取り組みについて拡大を図る。
- ・クリーンセンターの施設整備計画を進めていくことにより発電効率の向上に努める。
- ・以上のことにより，客観指標の目標達成と市民生活実感評価の維持，更なる向上を図る。

施策名	0103	ごみを出さない循環型社会の構築
-----	------	-----------------

指標名	一人一日当たりのごみの排出量（グラム）
-----	---------------------

担当課	循環企画課	連絡先	213-4930
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

一人一日当たりのごみの排出量(市受入量)

2 指標の意味

循環型社会の構築に向けた「ごみの発生抑制、再使用（2R）」の推進状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	1,000	924※	76グラム減	983	平成32年度の数値目標達成のために当年度達成すべき数値	106.0%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値		750グラム	32年度		京都市循環型社会推進基本計画<2009-2020>

備考	※8月末時点の速報数値から確定値に変更、それに伴い推移及び達成度を変更
----	-------------------------------------

5 評価基準

最新値－目標値が、
a：0グラム以下
b：0グラム超～29グラム以下
c：29グラム超～58グラム以下
d：58グラム超～87グラム以下
e：87グラム超

6 基準説明

当年度の目標値（983グラム）を達成した場合をa、京都市循環型社会推進基本計画<2009-2020>の基準年度（平成20年度）のごみ量（1,070グラム）を超えた場合をeとし、b～dは等間隔（29グラム間隔）で基準を設定

7 評価結果

		23
-	-	a

指標名	再生利用率（%）
-----	----------

担当課	循環企画課	連絡先	213-4930
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

ごみの総排出量に対する再生利用量の割合

2 指標の意味

循環型社会の構築に向けたリサイクルの推進状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	20年度	21年度		数値	根拠	達成度
数値	18.2	20.3	2.1ポイント増	19.3	平成32年度の数値目標達成のために当年度達成すべき数値	105.2%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値		31%	32年度		京都市循環型社会推進基本計画<2009-2020>

備考	算定に用いるデータの収集次期の関係から、21年度数値が最新となる。
----	-----------------------------------

5 評価基準

目標値－最新値が、
a：0%以下
b：0%超～0.4%以下
c：0.4%超～0.8%以下
d：0.8%超～1.3%以下
e：1.3%超

6 基準説明

当年度の目標値（19.3%）を達成した場合をa、京都市循環型社会推進基本計画<2009-2020>の基準年度（平成20年度）の再生利用率（18.0%）を下回った場合をeとし、b～dは等間隔（約0.4%間隔）で基準を設定

7 評価結果

		23
-	-	a

施策名	0103	ごみを出さない循環型社会の構築									
指標名	ごみ1トン当たりの発電量 (kWh/t)										
担当課	施設管理課		連絡先	2 1 2 - 9 8 2 0							
1 指標の説明											
クリーンセンターにおけるごみ1トン当たりの焼却熱等による発電量											
2 指標の意味			3 算出方法・出典等								
「適正処理とエネルギー回収の最大化」に向けて、ごみ1トン当たりの発電量を高め、天然資源の消費抑制を図る取組を示す指標			算出方法：全クリーンセンターにおける発電量÷焼却等処理量 出典：事業担当課調べ								
4 数値											
	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度					
	21年度	22年度		数値	根拠						
数値	342	329	13(kWh/t)減	340	今後の焼却等処理量及び処理施設における技術の発展を踏まえ、平成32年度に目指すべき値(440kWh/t)に対する当年度の計画値	96.8%					
	全国順位	中長期目標			備考						
		数値	目標年次	達成度							
数値											
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果							
最新数値の目標値に対する達成度が a：90%以上 b：90%未満～80%以上 c：80%未満～70%以上 d：70%未満～60%以上 e：60%未満		全クリーンセンターにおける発電量を焼却等処理量で除した値で評価する設定とした。基準区分に係る一般的な指標等は存在しないため独自設定とした。 目標の90%以上を達成したときをaとし、60%未満をe、b～dは等間隔で基準を設定した。 (参考) 平成21年度：342kWh/t 平成20年度：340kWh/t 平成19年度：370kWh/t		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>a</td> </tr> </table>				23	-	-	a
		23									
-	-	a									